目標達成計画及び自己評価結果を公表します

介護保険のサービスのうち、認知症対応型共同生活介護については、運営基準により、原則として年１回自己評価及び外部評価（第三者評価）を実施することが義務付けられています。

ここでは、評価結果を踏まえた目標達成計画と自己評価結果について公表します。これらは、事業者の責任で作成されたものです。内容については、各事業者にお問い合わせください。

目標達成計画について

○　各事業者は、自己評価及び外部評価（第三者評価）結果を踏まえて、目標達成計画を作成します。
○　サービスの質の改善及び向上に向けて、今後、どのように取り組んでいくのかを具体的に記載します。

公表している自己評価の結果について

○　自己評価は、各事業者が、提供するサービスについて自ら評価・点検し、サービス水準向上に向けた自発的な努力に結びつけるものです。
○　自己評価の項目は、第三者評価の共通評価項目と同じです。外部評価（第三者評価）における訪問調査の前に、自己評価を実施します。
○　公表内容は、自己評価で実施を確認できた標準項目数を記載しています。

※　なお、外部評価（第三者評価）の結果は「とうきょう福祉ナビゲーション」の第三者評価のページで公表しています。事業所情報の詳細ページからも、評価情報詳細のボタンをクリックすれば、第三者評価の結果ページにいくことができます。

サービス種別	**認知症対応型共同生活介護**
事業者番号	**１３９１４００３４６**
事業所名	**東中野キングス・ガーデン**
自己評価実施日	**2024 年　11 月　9 日**
目標達成計画作成日	**2025 年　3 月　29 日**

次のページより、目標達成計画及び自己評価結果を掲載しています。

様式２　認知症対応型共同生活介護・サービス項目中心の手法

目 標 達 成 計 画

サービス種別	**認知症対応型共同生活介護**
事業者番号	**１３９１４００３４６**
事業所名	**東中野キングス・ガーデン**

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目　　標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2-2-3	サービスの個別性が年々薄れている	今まで以上の目指すケアの実現	アセスメントシートの改良 フロア会議において一人一人のご利用者に対する取り組みを協議	～２０２６年３月
2	4-3-2	利用者の健康を維持するためのケアの実践	法人職員としてケアに向き合える職員育成	新規職員入職時や研修時など、より理解し実践できるよう訓練に努める	～２０２６年３月
3	4-5-1	コロナウィルスの関連もあり、家族とのつながりが薄くなっている。	利用者・家族・職員の交流の場作る	敬老会やクリスマス会等にあわせ、家族と交流できるイベントを実施	～2025 年 12 月
4	4-6-3	地域とグループホームとのかかわりが薄い	利用者が地域とつながりながら暮らし続けている	1 階の地域交流スペースで地域と交流するイベントを多く実施している。そこにご利用者がより参加できるようサポートする	～2025年9月
5	3-4-1	ケアプランなどの計画が職員のケアに生かされていない	ケアプランに基づいたケアの実践	フロア会議などを通じて職員一人一人がケアプランの内容を理解する。	～２０２６年３月

注１）項目番号欄には、関連する評価項目の番号（例：６－４－１）を記入すること。
注２）項目数が足りない場合は、行を追加すること

サービス項目中心の手法用

サービス種別	認知症対応型共同生活介護
事業者番号	１３９１４００３４６
事業所名	東中野キングス・ガーデン

※　自己評価結果は、各評価項目に属する標準項目のうち、実施が確認できた項目数を記載しています。
※　標準項目については、とうきょう福祉ナビゲーションの福祉サービス第三者評価のページに掲載しています。
http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/hyoka/datafile1.htm

カテゴリー6　サービス提供のプロセス

サブカテゴリー1　サービス情報の提供

評価項目		標準項目の実施状況	
		標準項目数	うち実施項目数
6-1-1	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	4	4

サブカテゴリー2　サービスの開始・終了時の対応

評価項目		標準項目の実施状況	
		標準項目数	うち実施項目数
6-2-1	サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている	3	3
6-2-2	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている	4	4

サブカテゴリー3　個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目		標準項目の実施状況	
		標準項目数	うち実施項目数
6-3-1	定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している	3	3
6-3-2	利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の介護計画を作成している	3	3
6-3-3	利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している	2	2
6-3-4	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している	2	2

サブカテゴリー4　サービスの実施

評価項目		標準項目の実施状況	
		標準項目数	うち実施項目数
6-4-1	認知症対応型共同生活介護計画に基づいて自立生活が営めるよう支援を行っている	3	3
6-4-2	利用者の状態に応じて、日常生活に必要なさまざまな作業等を利用者が主体的に行うことができるよう支援を行っている	4	4
6-4-3	利用者の健康を維持するための支援を行っている	4	4
6-4-4	共同生活が楽しく快適になるよう工夫している	3	3
6-4-5	事業所と家族等との交流・連携を図っている	4	4
6-4-6	利用者が地域で暮らし続けるため、地域と連携して支援を行っている	5	5

サブカテゴリー5　プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目		標準項目の実施状況	
		標準項目数	うち実施項目数
6-5-1	利用者のプライバシー保護を徹底している	3	3
6-5-2	サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している	2	2

サブカテゴリー6　事業所業務の標準化

評価項目		標準項目の実施状況	
		標準項目数	うち実施項目数
6-6-1	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	3	3
6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	2	2

利用者保護に関する項目

評価項目		標準項目の実施状況	
		標準項目数	うち実施項目数
評価項目 1	利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている	2	2
評価項目 2	虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている	2	2
評価項目 3	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる	5	5